

情報モラルちょっと授業

～10分で指導する情報モラル～

対象学年	中学校 3年生
------	---------

領域	教科指導（保健体育）
指導項目	〔体育編〕文化としてのスポーツの意義

情報モラル指導モデルカリキュラム			
分野	公共的なネットワーク社会の構築		
コード	i4-1	指導事項	ネットワークの公共性を意識して行動する
指導のねらい	今日、オリンピックや国際的なスポーツ大会が世界平和に果たす役割が一層大きくなっている。これはメディアの発達によってスポーツの魅力が世界中に広がったためである。近年メディアとして大きな役割を占めつつあるインターネットを通じた情報発信の公共性についても学び、生徒自身のインターネット利用についても考える機会とする。		

科目・活動との関連	スポーツの魅力が世界中に広められ、世界平和の役割を果たしていることが、メディアの発達に伴う情報発信の変化があること知るとともに、情報発信の重要性を考えさせる。
利用教材（サイト等）	教科書中心 参考として、インターネットで、メディアとスポーツについて検索し、情報をあつめる。

学習の過程（10分）	指導法	指導の留意点
<ul style="list-style-type: none"> メディアによって伝えられるスポーツの国際大会を知る。 情報発信の公共性と重要性について考える 	<ul style="list-style-type: none"> インターネット等の資料をもとに、近年のメディアの発達の歴史とスポーツの報道について理解させる。 教科書の「世界に広がるスポーツマンガ」を参照して、関心を高めさせる。 知っているスポーツの国際大会をあげ、どのような場面でメディアが活用されているかを考えさせる。 オリンピックや国際的なスポーツ大会が、国際親善や世界平和などに果たす役割が大きくなっており、これをメディアによる情報発信が支えていることを実感させる（教科書のトピックや口絵「スポーツは世界の言葉」を参照）。 	<ul style="list-style-type: none"> メディアは、公共性を持ち、社会的義務を負っていることを知らせる。 世界中の人々が一流プレイヤーの技を観戦できたり、学んだりできるなど、メディアの発達がスポーツに与える影響を理解させる。 社会に提供される情報の公共性について理解させ、生徒のインターネット利用に伴う書き込み等の情報発信についても公共性を意識させる。